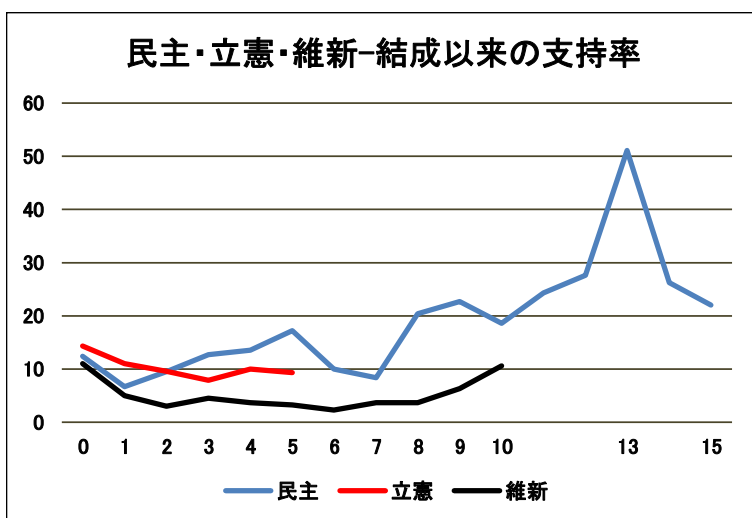


1. 維新の構造 - 結成以来の得票など

- ①2012年総選挙は、民主党政権崩壊の選挙。2012.9 月結成の維新は無党派から最大 21.4%の支持(1226 万票)を得て躍進。野党第一党に。 ※石原と共同代表。大阪維新 2010 年 10 月結成
- ②2013年参院選は、みんなの党とも競合、共産も躍進。無党派は四分割。636 万票にとどまる。
- ③2014年衆院選は、「結いの党」と合同。保守を強調。保守支持層の比率も高まっている。
- ④2016年参院選は、3 月に維新の一部(本体?)は民進党に合流。「おおさか維新の会」(ここでは維新本体として扱う)の選挙戦。
- ⑤2017年総選挙では、民進党分裂→希望と立憲とに分裂。無党派はこの二党に吸収され、維新は 338 万にとどまる。
- ⑥2019年参院選は、「都民ファーストの会」(音喜多ら)を吸収し、新党大地、減税日本などの地域政党と連携して選挙。得票数は 491 万。
- ⑦2021年衆院選は、旧民主系国民民主が「信を失い」、支持層の多くが維新に流出。805 万票を獲得。万票を獲得。「革新的」支持層の比率も増加している。
- ⑧2022年参院選は、維新の得票は 785 万、立憲が 677 万、国民 316 万と、得票としては野党第一党の位置を獲得した。 ※内訳-保守的 240 万+革新的 170 万+中間 375 万=785 万

維新の構造	得票計@万
2012年衆	1,226
2013年参	636
2014年衆	838
2016年参	515
2017年衆	338
2019年参	491
2021年衆	805
2022年参	785



2. 維新の構造 - 「右派ポピュリズム」≒無党派(右派系中心)の運動

(1)5度目の無党派バブル(≒ポピュリズム)運動 ※5度目のバブルが不発のまま

- NO.1・1989年参院選…社会党への無党派層の支持(62.4%に・除 NA) - 土井旋風/消費税 土井「山が動いた」。与野党逆転  
得票 - 自民 1534 万(27.3%-前回 38.6%)、社会 1969 万(35.1%-前回 17.2%)。  
政党支持率(明推協)  
- 自民 37.5 社会 17.0 公明 4.8 民社 3.2 共産 2.3 社民連 0.3 支持政党なし 28.7
- ・1990年衆院選… 1989 年秋の冷戦崩壊→社会党への無党派層の支持が減(43.2%)  
自民党 275 議席(安定多数)回復、社会議席増だったが、野党(公明・民社・共産)大敗
- No.2・1993年衆院選…新党運動(日本新党、新党さきがけ、新生党)に無党派から計 34.7%  
社会には 16.8%→細川連立政権へ
- 1993年の細川連立政権成立(非自民8党会派連立)により、38 年間の自民単独政権

は崩壊し、日本政治も「連立の時代」に入った。

※「連立政治」については別途

細川政権の崩壊(93.8.9 - 94.4.28)は有権者の失望と膨大な無党派層を産み出した

※内紛と佐川急便疑惑→グラフ参照

No.3・2001年参院選…小泉劇場 ※「自民党をぶっ壊す」無党派が生んだ自党内異端

2005年衆院選で無党派が応援に…郵政解散選挙 ※データ回収中

No.4・2003年衆院選/04年参院選…民主党の躍進へ

2009年総選挙で民主党政権の樹立(無党派層から59.3%の支持)

No.5・2017年総選挙で民主・民進党は「希望の党と立憲民主党とに分裂」

・2019年参院選、2021年衆院選を通して「右派ポピュリズム」(中道右派)的無党派運動の大勢は維新に吸収された。



(2) 非自民の政権構想は「連立協定」だと思いが  
…「中道右派」と「中道左派」の連立政権?!

希望の党の後継・国民民主党は、維新との差別化に失敗して失速。「中道保守」or「保守中道」と称される政治勢力は維新を中心に糾合されようとしている。この中で立憲民主党が「中道左派」ないしは「民主リベラル」と言われる政治勢力として、その存在感を維持し、示し続けることができるかどうかの「瀬戸際にある」…。

%	保守的	中間+NA	革新的
2021自民	61.0	29.5	9.5
2017自民	65.5	28.1	6.3
2021立憲	20.2	39.0	40.8
2017立憲	18.7	40.8	40.5
2021国民	38.5	33.3	31.4
2017希望	34.7	43.0	22.1
2021維新	35.3	33.3	31.4
2017維新	38.6	37.3	24.0

※前頁図の%構成比

